



評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：ケアする力

【37-新人】廃用、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの基本的な病態生理

1. サルコペニア、ロコモティブシンドローム、フレイルの定義とはどのようなものだったでしょうか。

サルコペニアとは、加齢に伴い全身に見られる進行性の骨格筋量と筋力の低下を特徴とする病態で、QOLの低下や死のリスクを伴う老年性症候群である。ロコモティブシンドロームとは、加齢に伴う筋力の低下、関節や脊椎の疾患、骨粗鬆症などの運動器の機能が低下して、要介護や寝たきり、またはそのリスクの高い状態である。フレイルとは、加齢に伴う多臓器の生理的機能の低下や、恒常性低下があり、種々のストレスに対して身体・精神機能障害や健康障害を起こしやすい状態である。これら3つは、独立した病態ではなく、互いに深く影響して要介護となったり、要介護リスクを高めたりする。

2. フレイルの負のサイクルの問題点はどのような事でしょうか？

フレイルの負のサイクルの問題点は、体重減少や筋力低下などの身体的問題の出現に伴い、疲労感増加や活動性低下が出現する。そして、それら身体的問題が引き金となって、抑うつや閉じこもりなどの精神・心理的問題点、社会的問題点までに進行してしまうことである。高齢者の精神・心理的な問題は認知機能低下を進行させる要因であると考えられているため、主な要介護要因である「認知症関連のフレイル」を助長するのではないかと考えられる。